

UNODC 事務局長による開会挨拶
京都 kongress におけるアンシラリー・ミーティング
世界保護司会議（仮訳）
2021 年 3 月 7 日（日）

上川大臣，
皆様，

犯罪者の立ち直りを支える地域ボランティアが集まるこの世界的な会議を開会できることを光栄に思います。

このイベントは、犯罪に対する効果的で、グローバルな取組の不可欠な要素として、地域社会の対応を強く支持するものであり、法の支配を進める社会を助け、貢献している個人の重要な役割を支援する機会でもあります。

今回の世界保護司会議を率先して開催して下さった上川法務大臣，日本国法務省，国連アジア極東犯罪防止研修所に感謝いたします。

日本の保護司制度の長年にわたる模範的な取組は、今回の世界保護司会議の創設のきっかけとなり、犯罪防止と刑事司法に社会や個人が参画するためのモデルとなっています。

また、本日ここにお集まりの地域ボランティアの皆様，そして世界各国からこのイベントにオンラインで参加されている皆様に，心よりご挨拶申し上げます。

パンデミックという困難な状況にもかかわらず，皆さんは，障害を克服し，それぞれの地域社会で真のポジティブな影響を与える方法を見つけたように，直接又はバーチャルで，今日のイベントに参加してくださいました。

COVID-19 の時代，私たちはこれまで以上に，地域社会の改善のために時間と努力を惜しまず，連帯感，インスピレーション，希望をもたらしてくれる人々に注目しています。

今年の kongress のテーマは「2030 アジェンダの達成に向けた犯罪防止，刑事司法及び法の支配の推進」です。

持続可能な開発に向けた私たちの共通の努力指針である2030アジェンダは、「誰一人取り残さない」ことを核としています。

この世界的なコミットメントに沿って、犯罪者に対する地域における監督と援助を提供する皆様の努力は、拒絶されたり疎外されたりする人々の社会復帰を支援するために不可欠です。

皆様が、各々の犯罪者は立ち直る能力を持ち、地域社会のメンバーはその変化の担い手であるという信念をお持ちであることは、称賛に値します。

地域ボランティアと社会復帰を目指す犯罪者が協働することで、公共の安全と法の支配を維持し、犯罪や再犯による被害からの回復力を高めるために具体的な貢献ができます。そして、私たちを平和で包括的な社会に近づけてくれます。

刑事司法の実務家、市民社会、及び地域ボランティア間のコラボレーションの成功は、マルチステークホルダー・パートナーシップが、レジリエンス（回復力）と連帯の根を確実に定着させるための強力なツールであることを証明しています。彼らの協働は、2030アジェンダのゴール16と17の精神を正に体現しており、見習うべきモデルとなっています。

UNODCは、人々を我々の対応の中心に据えることを固く約束します。

今年発表されたUNODCの新戦略では、あらゆるレベルのパートナーシップを構築し強化することなどにより、人々を中心にした対応を行うことを目指しています。また、女性と若者に力を与え、学習と革新の文化を活用することも目的としています。

その実施に当たっては、本日、私たちが称賛する地域ボランティアの方々のような、地域社会における変化の担い手を支援するよう努めます。

また、UNODCは、犯罪者の社会復帰に関する皆様の信念を共有しています。

私たちUNODCの「刑務所の課題に関するグローバルプログラム」は、保釈、保護観察、仮釈放などの非拘禁措置の活用を改善し、犯罪者の社会復帰を促進することができるよう各国を支援し、刑務所運営の更生的アプローチを制度化することに努めています。

2020年、COVID-19の影響にもかかわらず、私たちの努力は続いています。UNODCは、例えば、スリランカでは、刑事司法の専門家に非拘禁措置の活用に関する研修を行い、タイとベトナムでは、女性の犯罪者に対する非拘禁措置活用の評価について支援しました。

また、UNODCは、出所した受刑者の雇用可能性や社会復帰を改善するために各国を支援してきました。

ボリビア、ナミビア、パレスチナなど多くの国で、受刑者が自分や家族を養うためのスキルを身に付けることを目指し、受刑者に職業訓練や実用的な訓練を提供してきました。また、インドネシアでは、女性の受刑者を対象に、ビジネスに利用可能なスキルを身に付けさせる新たなプロジェクトを開始します。

また、UNODCは、加盟国が「ネルソン・マンデラ・ルールズ」を遵守するための支援を行い、再犯の減少に努めています。

マンデラ・ルールズに関する刑務所職員向けのeラーニングコースには、150か国以上から約3万5,000人のユーザーが無料で登録しており、各国の刑務所職員向けの通常の状態研修カリキュラムの一部として制度化されています。

皆様、

本日の世界保護司会議では、「犯罪者の立ち直りを支える地域ボランティアのための京都宣言」が採択されると聞いています。私はその宣言を楽しみにしていますし、その宣言が京都 kongress の成果とそのレガシーに役立つことを期待しています。

皆様におかれましては、今日の集まりを利用して、犯罪防止のために個人が地域社会にできる強力な貢献について話し合っていたいただきたいと思います。

私は、この会議が、犯罪者の社会復帰の分野における地域ボランティアのグローバル・ネットワーク、つまり、相互のインスピレーションと連帯のネットワークへの道を開くことを願っています。

UNODCは、社会の一員が犯罪や再犯に対して貢献できることを信じています。

私たちは、犯罪者の社会復帰における地域ボランティアの活動を支援し、その認識を高める準備ができています。

私たちは皆様と一緒に、地域社会の犯罪者が自分の戻る道を見つけられるよう手を差し伸べていく所存です。

ありがとうございました。